

大泉

進学、進級を前にして

校長 中岡 盛一

上校庭、下校庭、中庭の紅白の梅が咲き、桜の蕾も少しずつ膨らんできて、春の訪れを感じます。いよいよ修了式、卒業式の学年末の月となりました。一年生から五年生までの三百七十一名がそれぞれ進級し、六年生一組二組五組の七十四名が卒業します。

この一年間、お子さんの健全育成、学力向上のため、学校の様々な運営にご理解をたまり、本当に感謝いたします。宿題などの家庭学習や各種様々な提出物にご協力ありがとうございました。また、六年一組といずれみ学級では、担任が途中で替わったこと、子供たちと保護者の方にはご心配とご迷惑をおかけしました。

次年度も今年度同様、学校と家庭・地域が一体となって教育成果を挙げてまいります。教育方針や活動をご理解いただきご協力いただければ幸いです。

さて、学校評価アンケートの結果と考察をお知らせしているところですが、来年度のことについてお知らせしたいと思います。

一、新一年生と学級編制

現在のところ新一年生は男子三十六名、女子四十四名計八十名で、三学級編制の予定です。今二年生が使用している教室

<発行>
練馬区立大泉小学校

<所在地>
練馬区東大泉 4-25-1

TEL 03-3924-0144
FAX 03-5387-2092



が新一年生の教室になる予定です。五年生が現在のままの人数ですと新六年生は三学級となり、全校で十五学級（二学級増）になります。今年度の教室配置と変わる可能性が大きいです。学級編制替えは、今の一年生、二年生、四年生、五年生（八十一名以上）のままの場合のみで行います。

二、特別支援教室の開設

区内全小学校に今年度から平成三十年度までに「特別支援教室」が開設されます。本校はいずれみ学級（情緒障害通級学級）が既にあるため、従来通り入級が決定すれば校内で通えます。次年度から本校が「拠点校」として、いづみ学級の教員が決められた曜日に大泉南小学校、大泉東小学校に巡回指導に行きます。まだ開設されていない学校からは引き続き通級してきます。

三、宿泊行事について

次年度の宿泊地は、五年生は武石（長野県）六年生は岩井（千葉県）になります。武石少年自然の家が来年秋から改修工事が入るため、従来秋に行っていた五年生の移動教室が一学期になります。日時は保護者会で配ります次年度の予定表で御確認ください。

四、外国語学習について

新学習指導要領の先行実施により、平成三十年から三、四年生で外国語活動が入ります。その準備として、次年度、三、四年生で年間五時間実施する予定です。

3月の行事予定

- 1日（水）安全指導・点検
六年生を送る会
 - 2日（木）委員会活動
 - 3日（金）保護者会（34）
 - 6日（月）特別時程5時間授業
巣立ちの会
 - 8日（水）避難訓練
地域班下校
 - 9日（木）6時間授業（456）
 - 10日（金）遠足（五）
 - 15日（水）避難訓練
 - 17日（金）大掃除
 - 20日（月）春分の日
 - 21日（火）卒業式練習（6）
 - 22日（水）卒業式練習（56）
給食終
 - 23日（木）修了式
卒業式予行
 - 24日（金）卒業式
- ※11日（土）、金管定期演奏会が14時から体育館で開催されます。

卒業おめでとう



《3月の生活目標》 「身の回りの整理整頓を しっかりとしましょう」

今月の目標は「身の回りの整理整頓をしっかりとしましょう。」です。
いよいよ3月になりました。3月は学年のまとめと進級・進学に向けての準備の時期でもあります。身の回りを整理整頓し、気持ちよく次のステップに進めるようにしましょう。

身の回りが乱雑になっていると、集中して学習に取り組むことができず注意散漫になってしまいます。また、身の回りの乱れは、心の乱れにもつながってしまいます。反対に整理整頓されていると、やる気が出たり、集中して取り組むことができたりしますよ。身の回りのものを分類・整理したり取捨・選択することは学習にもつながるかもしれませんね。気持ちよく学習に取り組むために、学習道具を大切に扱い、身の回りは整理整頓を心がけましょう。それに、自分の回りをきれいにしておく、他の人も気持ちよく過ごすことができます。

整理整頓がどうしても苦手という人がいるでしょう。そういう人はまず、「使った物は必ず元に戻す」「物の住所（しま場所）を決めておく」「片付ける時間（片付けタイム）を決める」等のルールを決めたり、片付けが楽しくなるような工夫をしたりして習慣づけるようにしてみましよう。

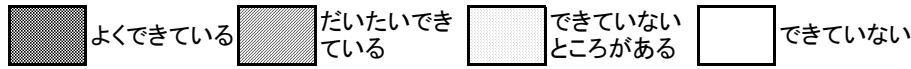
今まで使ってきた教室、持ち物をきれいにしながら、今年度の自分を振り返ってみてもいいかもしれませんね。

（和久井智洋）

平成28年度 学校評価アンケートの結果報告と考察

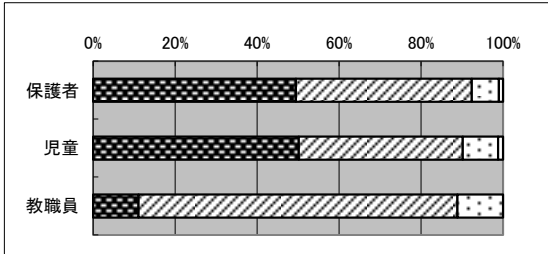
学校評価のアンケートでは、ご協力ありがとうございました。保護者・児童(3年生以上)・教職員の結果をまとめましたので、ご報告いたします。

今後も本校の教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。



1. 漢字学習、計算学習など基礎的・基本的な内容を確実に学ばせます。

授業では、勉強する内容が分かりましたか。(児童)



現状
・9割程、肯定的な意識で概ね習熟できていると捉えています。

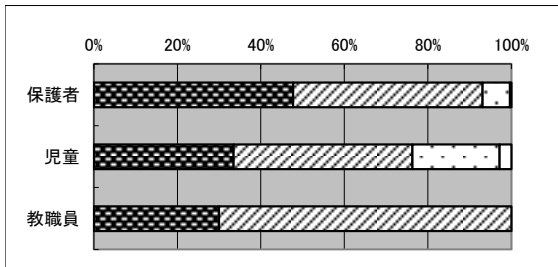
今後
・今年度、3～6年生の算数少数で講師を入れて、「こつこつコース」をTTにして指導してきました。今後も講師の配置があれば、そのようにしていきます。
・家庭とも連携し、基礎的・基本的な内容の定着を図っていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	92.4%	90.2%	88.9%
27年度	89.9%	88.9%	91.7%

2. 発言や発表の仕方を身に付けさせ(10のルール)の徹底)、学習発表の機会を確保します。

学習中にルールを守り、友達の考えを聞いたり、自分の考えを話したりすることができましたか。(児童)



現状
・教員は発言、発表の機会を確保して授業を行っています。
・児童自身が、まだ発表力が身に付いていないと捉えている児童が3割程度います。

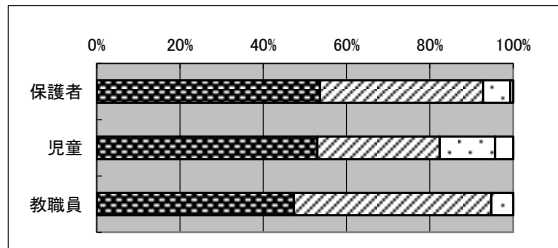
今後
・小グループでの発表、発言はできてきています。
・全体交流などで、一部の児童の発言、発表になりがちな点は気を付けて指導していきます。
・交流、発表等を行う中で、児童のできる経験をつませていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	93.1%	76.3%	100%
27年度	92.6%	80.2%	87.0%

3. 教科書の音読、図書の時間などを通して、本を読む意欲を高めます。

音読練習や読書をすすんでできましたか。(児童)



現状
・校内研究で国語を行っていることもあり、家庭での音読に取り組む様子が見られます。
・すすんで取り組んでいるという意識には到達していないのが現状です。

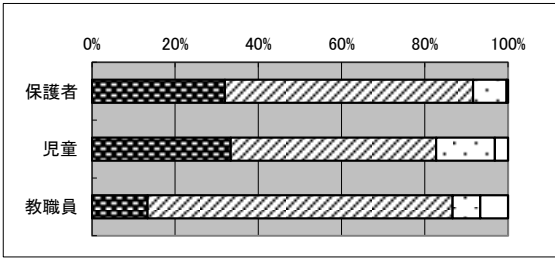
今後
・自発的な取組に繋がるように声をかけたり、校内研究を深めたりしていきます。
・図書支援員が学習に関する本を用意してくれていましたので、今後も積極的に継続して取り組んでいきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	92.8%	82.4%	94.7%
27年度	85.7%		100%

4. 心の教育の要として、道徳授業を確実に行っていきます。

道徳や学級活動などで自分や友達のをさを認め合い、助け合って学校生活を送ることができましたか。(児童)



現状
 ・道徳の授業をより充実させ、必要に応じて、その都度教員が児童に適宜指導しています。
 ・係活動や学級の集会で自分や友達のをさに気付けるような機会を設けています。
 ・学級会の進め方や掲示物に学級で差があるのが現状です。

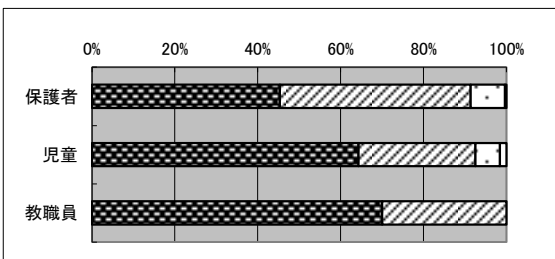
今後
 ・児童の実態から、道徳の授業内容を吟味、工夫していきます。
 ・話し合いグッズが共通で使えるよう到来年度に向けて特活部で準備して、より話し合いが充実するようしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	91.6%	82.7%	86.7%
27年度	91.5%	80.4%	85.7%

5. あいさつ、返事、忘れ物など繰り返し指導していきます。

すすんであいさつや返事ができましたか。(児童)



現状
 ・低学年はクラスの中ではよくできている。担任がいる時はできています。
 ・あいさつはできていても顔を見ていない児童がいます。
 ・イベント(あいさつ運動)では、あいさつができています。
 ・クラスによって差があるようです。習慣付いている児童とそうでない児童の差があるのが現状です。

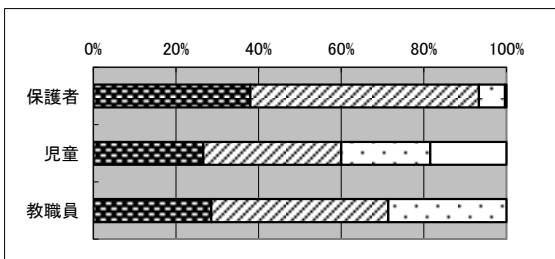
今後
 ・どんな場所でもあいさつや返事ができるようにしていきます。
 ・返事の励行もしていきます。(あいさつをした時に返せない子は普段のあいさつもできていない。)

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	91.3%	92.5%	100%
27年度	87.8%	92.3%	90.3%

6. 5組と1・2・3組との交流および共同学習を計画的に進めていきます。

5組のお友達と勉強したり、遊んだりすることができましたか。(児童)



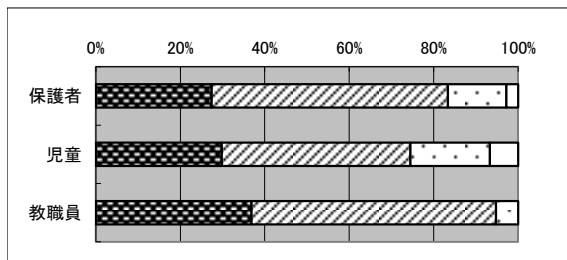
現状
 ・運動会や社会科見学などの機会と一緒に取り組んできました。
 ・わくわくタイムでは、5組の児童が少人数に分かれ、多くの児童と一緒に過ごせるようになってきました。
 ・3学期に交流を予定している学年が多いのが現状である。
 ・児童は同じ校内で生活することで、5組と過ごす環境を当たり前と感じています。
 ・低、中学年は交流の時間を設定しやすい状況です。

今後
 ・既に計画されているものを、3学期に実施していきます。
 ・わくわくタイムでは、引き続き多くのグループに5組の児童がいられるように振り分けます。
 ・低、中学年のうちに交流の機会を意識的に設け、高学年での土台になるようしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	93.3%	60.0%	71.4%
27年度	94.3%	66.3%	65.0%

7. 言葉遣い、友達とのかかわり方を見直しさせ、スクールカウンセラー、心の相談員と連携して子供の生活に対応していきます。
その場に合った正しい言葉遣いができましたか。(児童)



現状
 ・言葉遣いがよくない児童もいるのが現状です。
 ・担任がどの児童がスクールカウンセラー、心の相談員に相談しているのか、把握できていないことがあります。

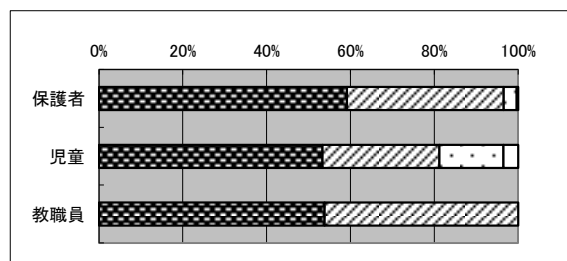
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	83.3%	74.5%	94.7%
27年度	84.6%	82.7%	93.1%

今後
 ・家庭と連携して指導していきます。
 ・スクールカウンセラー、心の相談員との連携の仕方、役割分担について、改めて明確化していきます。

8. 全校で水泳、持久走、縄跳びなど目標をもたせて意欲的に取り組ませます。

マラソン、なわとびなど、運動にすすんで取り組むことができましたか。(児童)



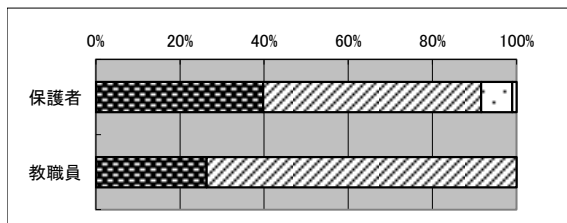
現状
 ・持久走への児童の意欲が高く、毎年の取組が定着してきています。
 ・なわとび月間では、休み時間に短縄や大縄にすすんで取り組む児童が多く見られます。
 ・なわとびのチャレンジカップでは、委員会の児童が中心になって活動することができました。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	96.5%	81.2%	100%
27年度	96.8%	89.5%	94.7%

今後
 ・反省をその都度生かしながら、取組を継続していきます。
 ・体力テストを基にして、児童が自分の体力を分析する場を設定していきます。
 ・児童の体力テストの結果を生かして、体育の授業を

9. 健康で丈夫な体づくりのため、早寝早起きをさせ、朝食をとらせるようにしていきます。



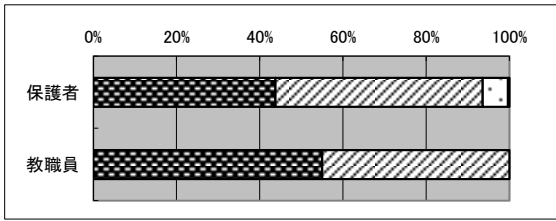
現状
 ・声をかけることで啓発をしています。
 ・朝食をとらない児童は多いが、いつも決まった児童という現状です。
 ・遅刻は減っている状況にあります。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	91.5%	100%
27年度	92.9%	88.0%

今後
 ・早寝早起きなどの生活習慣について、引き続き声かけをしていきます。
 ・保健だより等を通して、家庭にも協力をお願いしていきます。

10. 5組、いずみ学級、ことばの教室の教員とともに児童一人一人に必要な教育的支援を行っていきます。



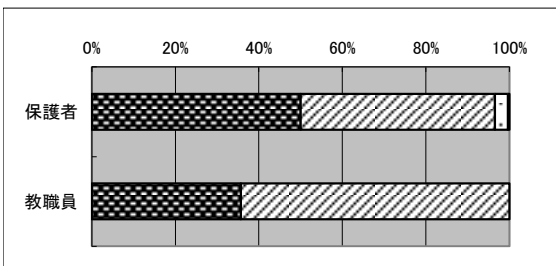
現状
 ・校内で気になる児童をそれぞれの立場から見たり、適時指導して、連携はできてきています。

今後
 ・引き続き、特別支援学級と通常の学級で連携をしていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	93.6%	100%
27年度	91.8%	100%

11. 学年に応じて練馬、東京、日本の文化・伝統、自然を生かした学習を進めます。



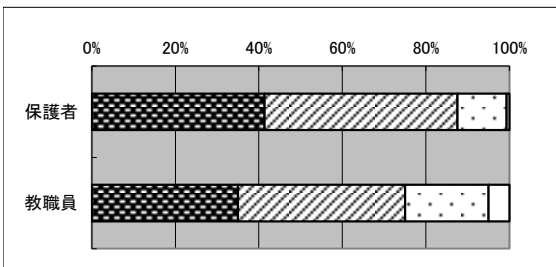
現状
 ・概ねよいと捉えています。
 ・小泉牧場や加藤農園など、地域学習が充実しています。

今後
 ・総合的な学習の時間や教科指導を通して、継続して地域学習を進めていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	96.5%	100%
27年度	93.9%	95.5%

12. 進んで情報発信(各種たより、HP、学校連絡メール等)をし、学校の様子が分かるようにしていきます。



現状
 ・学校、学年、専科等から出されるお便りで、様子を伝えていきます。
 ・学校連絡メールでも、必要な情報を適宜配信していきます。
 ・ホームページの配信は学年や行事で差がある現状です。

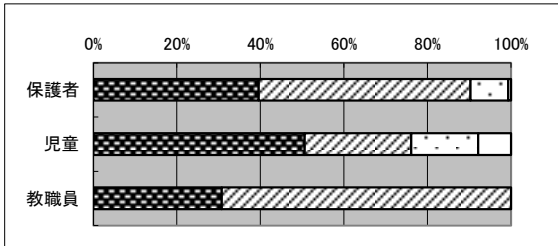
今後
 ・各種たよりや学校連絡メールで、引き続き必要な情報を配信していきます。
 ・ホームページの載せ方を教員が共通理解していくようにしていきます。
 ・特活部で担当する行事や活動は、担当を決めて、ホームページに載せていきます。

「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	87.6%	75.0%
27年度	88.7%	96.0%

13. ご家庭の協力のもと、家庭学習の習慣が身に付くようにしていきます。(10分×学年)

おうちでもすすんで学習ができましたか。(10分×学年)(児童)



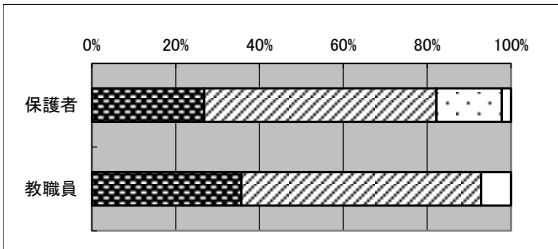
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	児童	教職員
28年度	90.3%	76.1%	100%
27年度	84.9%	75.1%	86.4%

現状
 ・高学年は児童によっては「10分×学年」は難しい場合もあるのが現状です。
 ・実際は学習ができていても「すすんで学習」と捉えていないのではないかと考えています。

今後
 ・与えられたものだけでなく、自分で学習できるようにしていきたいです。(宿題+自主学習)
 ・家庭学習について、引き続き声かけをしていきます。

14. 大泉中学校との小中一貫教育を継続していきます。



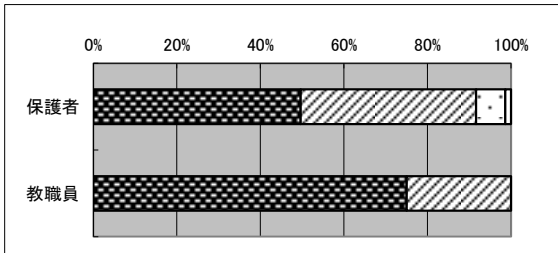
「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	82.2%	92.9%
27年度	79.2%	92.0%

現状
 ・6年生と大泉中のあいさつ運動、学校紹介など交流を継続して行っています。
 ・今年度、会議室前の廊下に情報公開を行っています。
 ・大泉小の5組と大泉中の10組で参観をし合って交流をしています。

今後
 ・校区別協議会や校内研究会を中心に小中一貫教育をさらに進めていきます。
 ・大泉小5組と大泉中10組が体育で合同研究を行っていきます。
 ・今後、中学校の先生による授業も検討していきます。

15. 体罰や問題行動など服務事故を起こさないようにします。



「よくできている」「だいたいできている」(+評価)の割合

	保護者	教職員
28年度	91.6%	100%
27年度	94.7%	96.7%

現状
 ・年2回の服務事故防止研修を受け、服務事故を起こさないように教職員一人一人が気を付けて職務にあたっています。

今後
 ・引き続き、教職員一人一人が児童の人権を尊重し、服務事故未然防止に努めていきます。